

# 令和3年度 学力向上に係る効果的な取組事例

## 「1人1台端末環境のフル活用を目指したICT教育の推進」

### 吉川市教育委員会・吉川市立吉川小学校

Society5.0を見据え、これからの社会を生きる児童生徒の学力向上への手立てとして情報活用能力の育成に直結するICT教育の充実が最優先課題であると捉えている。

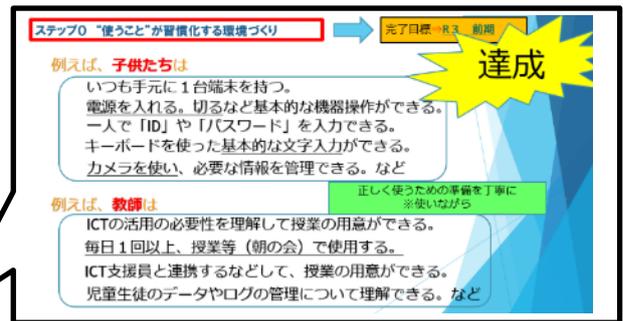
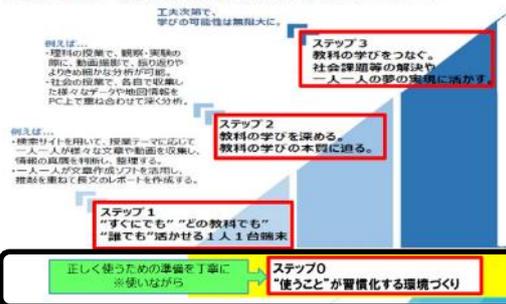
吉川市では1人1台環境のフル活用をICT教育のあり方として掲げている。学力向上を目指す中で、教科指導を核として教科外も含めた学びの要としての「1人1台環境端末のフル活用」を全小中学校と協力して進めているところである。

今後も教職員の資質向上に向けた継続的な研修や、市情報教育推進委員会等による現場からの意見集約を進め、学力向上に係る「吉川市のICT教育」を推進していく。

#### 1 吉川市教育委員会の取組

##### (1) ICT教育の方向性について

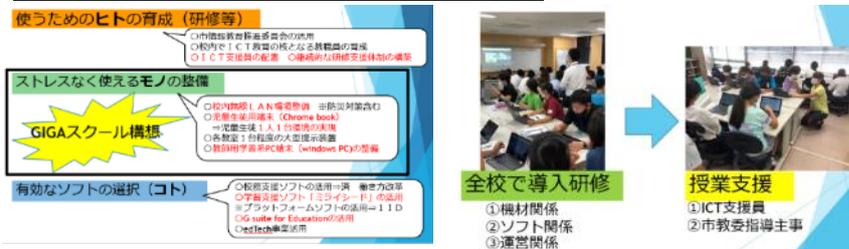
「1人1台端末・高連携環境」を活かした学びの姿のイメージ



- ICT利活用を支える土台作りを大切に考え、令和3年度前期は「ステップ0」を目標として設定  
⇒1人1台環境に慣れるための準備期間を設定 ⇒学校のICT利活用の自走化への支援

★ ICTを使う授業に向けて⇒Itsumo Chotto Trouble があるものです。Itsudemo Chotto Tsukattemiyou!

##### (2) フル活用を支えるヒト・コト・モノの3要素



- ① 使うためのヒトの育成（研修等）② ストレスなく使えるモノの整備③ 有効なソフトの選択  
⇒学校の実態に応じた、3要素のバランスを考慮した学校支援体制の構築

★ICT教育推進担当の立ち上げ⇒学校からの依頼対応について切り分け、即応⇒市内へ共有

##### (3) 「自分の思い」や「考え」を伝えるための手段としての1人1台環境のフル活用



- 「吉川市プレゼンテーション大会」の開催 や 中学生による「まちづくり提案」の実施  
⇒教科横断的な学習に有効活用⇒「SDGs」を含めた社会課題解決への視点

##### (4) 次年度に向けて

- エビデンスの取り方について
- 異動者を含めた継続的な支援
- 学力向上に向けた更なる利活用の促進

## 2 市内学校の取組 ～吉川市立吉川小学校の実践～

市内の各学校に月に2回派遣している「ICT 支援員」との連携を密にし、あらゆる学習場面での ICT 機器の活用について、校長を中心に教職員が進んで取り組んでいる。Google workspace for Education や「ミライシード」を教職員が使う中で、「良さ」や「強み」がわかり、使うべき時に使うことができている。

### ① 年度当初の姿

- ICT 機器の盗難防止やいたずら防止の観点から、使うときのみ開錠  
⇒すぐ使えるように、「朝カギを開けて」「帰りにカギを閉める」
- まずは、教師が「大きく」「詳しく」「同じもの」を見せる授業から
- 子どもたちは「自分でログイン・ログアウト」  
⇒「カメラ」や「文字入力」・「検索」へ⇒利活用の増加
- 「Google Meet」を使った全校朝会など、各種ソフトの利活用
- 高学年による低学年への支援（入力支援）の実施



### ② 利活用の拡充へ

- 年次別研修や支援担当訪問の機会を通して、ICT 機器を取り入れた授業実践  
⇒学年・学級で ICT 機器を使う経験の蓄積と共有化
- 学習支援ソフト「ミライシード」や Google workspace for Education の活用⇒思考の可視化・共有化ができるメリットを生かした授業
- 「Google Forms」を使った全校アンケート  
⇒一瞬で児童の考えていることを分析し、学校経営に生かす
- 保護者に理解協力が不可欠である。  
⇒「彩の国 教育の日」における学校公開で ICT 機器の利活用。

ほくたち わたしたちの クラスじまん

投稿日時: 2021/10/13 吉川小学校

10月11日・12日 の二日間で児童集会「青小 クラス 自慢集会」を行いました  
オンラインでのクラス自慢  
各クラスから、さまざまな自慢がとびました  
紙芝居を作って説明をするクラス



全校アンケート 結果

投稿日時: 2021/10/13 吉川小学校

1学期中に実施してよかったこと、よくなったことなどを全校アンケートしました。  
方法は、Google Forms を1学期から6年まで、自分たちのタブレットでアンケートを実施し、  
毎週結果のようになっています。

学校は楽しいですか (たのしいですか)



### ③ 次年度に向けて

- 今年度の学校の財産を活かす。⇒異動者への共通理解
- 次年度更なる ICT の利活用に向けた体制の構築

